

2023（令和5）年6月20日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久新校創設推進協議会
会長 柳田 清二

要 望 書

平素は、本県の充実と発展に多大なご尽力を賜り、県民として深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

さて、長野県教育委員会は、2023（令和5）年1月16日の定例教育委員会において、野沢北・野沢南を再編統合した佐久新校について次のように決定しました。

- 野沢北高校を新校の校地とし、2029（令和11）年度に開校する
- 全日制課程8学級程度、定時制課程1学級の規模とする

新校が、伝統ある両校のすぐれた教育力を継承し、新しい時代を担う佐久の子どもたちの学びの拠点としてさらに発展することは、ひとり同窓会のみならず地域社会全体の熱い願いとなっております。

わたしたちは、こうした地域の期待に応えるため「佐久新校創設推進協議会」を設立し、佐久新校の開設に係る諸課題を検討してまいりました。

「知」の探究校として、子どもたちの高い志を支援し、地域・日本・世界に貢献する人材を育む学びの場を創造するため、下記のことを切に要望いたします。

記

1 校地を拡張すること

現在の野沢北高校の校地は、共学共創のコンソーシアムなど、新しい学びを展開する上で十分とは言えず、駐車場も狭隘です。

2 通学の利便性・安全性を確保すること

JR 佐久平駅や中込駅と学校を結ぶ道路交通アクセスの充実を期待します。

3 校舎を全面改築すること

現野沢北高校の校舎は著しい老朽化がみられます。新校校舎は、長野県の「県立学校学習空間デザイン検討委員会」の案に沿って全面新築とし、最新の教育環境を整えた、夢のある学びの場を創出してください。

以上